

指定校番号	28007	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立 可部小学校	校長	阪田 福三	生徒指導主事	中山 孝
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『キーワード リーダーの育成』

取組のねらい『キーワード 自主的実践的態度』

○ みんながよりよい学校生活を送るために、協力して諸問題を解決しようとする自主的実践的態度を育てるとともに高学年児童にリーダーとしての役割を自覚させる。

取組の具体的内容『キーワード 率先垂範』

○ 高学年を中心に、リーダーとして活躍し自覚を促す機会を多く設けることで、手本となる「かべっ子」の率先垂範が機能することを期待している。



平和集会



かんべ村訪問



6年生を送る会

① 各委員会の取組

- ・ わかたけ委員会……………運動会テーマ、平和集会、かんべ村訪問、6年生を送る会
- ・ 図書委員会……………本の紹介
- ・ 放送委員会……………校内や校外での過ごし方の呼びかけ
- ・ 園芸ビオトープ委員会…学校園・ビオトープの世話、校内美化
- ・ 飼育委員会……………動物の紹介（ふれあいパーク）
- ・ 運動委員会……………運動や遊びの奨励
- ・ 給食委員会……………食事マナーの紹介、食器返還の手伝い
- ・ ベルマーク委員会……………ベルマーク集めの呼びかけ・回収・集計
- ・ 生活委員会……………あいさつ運動、黙って掃除、牛乳パックリサイクル回収
- ・ 保健委員会……………健康面の関心を高める呼びかけ、検診の準備手伝い
- ・ 広報委員会……………ユニセフなどの募金活動



黙って掃除



牛乳パックリサイクル



登校班



あいさつ運動

② 登校班……………各地区ごとに班長がリーダーとなり一緒に登校する。

③ あいさつ運動……………高学年が中心に、校門で自主的にあいさつをする。

取組の課題・創意工夫 『キーワード 主体的・自発的場の設定』

- リーダーを中心に他の児童の活動も主体的・自発的になるように、自ら工夫して活動していける場をできるだけ設けている。



わくわくタイム



おはようタイム



学習発表会



徒歩遠足

- ① きょうだいグループ……1・6年、2・4年、3・5年が縦割りグループを作る。
「わくわくタイム」「徒歩遠足」「スポーツテスト」
「掃除・給食の補助（6年）」「合同音楽・九九ボランティア（4年）」
- ② 業前活動……さわやかタイム、おはようタイム、保健指導
- ③ 地域発信……運動会、学習発表会
- ④ 生活規律……語先後礼、犯罪防止教室、いじめをなくす行動宣言

取組の成果（効果）『キーワード かべっ子』

- 高学年になれば自然と主体的になるというものではない。リーダーとしての活動を仕組むことが自覚を促し、やがて個人の主体性を生み出すものと考えられる。主体的な動きが、他の児童に波及効果をもたらし、リーダーの役割がない者にも主体性をもたらす。それは、同学年の中であっても異学年であっても起こる良い変化であると実感している。毎年、6年生児童を中心に「かべっ子」（モデル）を示し、新たな「かべっ子」を生み出すことで大きな効果を実感している。

今後の展開『キーワード 伝統の継承と発展』

- 先述の通り、即効性のあるものではなく、毎年根気強く地道に続けていくことで小さな変化を待ち望むものである。従って、ベースの部分は何年も変えることなく良き伝統として残されてきたものである。それを毎年、発展させ、よりよい可部小学校をつくっていくという心構えを6年生児童を中心に育てることができるよう指導を続けていきたい。

他校へのアドバイス『キーワード 特色』

- 本校の特色をベースに置いた「育てる児童の姿」を保護者・地域で共有し、9年間で育てていくという意識を持つ。